

# 地域おこし協力隊通信

発行：令和4年5月26日

## 新入隊員を紹介します！

丹波山村地域おこし協力隊に、この春首都圏の大学を卒業したばかりの若き力が加わりました！4月に活動を開始した伊東真由隊員、鈴木梨奈隊員を紹介します。

- ①出身
- ②所属・活動内容
- ③丹波山村を選んだ理由
- ④今後挑戦してみたいこと
- ⑤村民へメッセージ

① 新潟県新潟市

② 株式会社QOLたばやま

テントサウナの企画担当ですが、のめこい湯や道の駅のフロントもやっています。

③ 一番は狩猟がやりたかったことと、温泉もサウナも大好きなので、自分で盛り上げられたらいいなと思って丹波に来ました。魚や生き物が好きで、丹波の自然はとても魅力的なので、色んなことをやってみたいと思っています。

④ 山登りや釣り、狩猟、畑などをやりたいです。4月に初めて自分でわらびのあく抜きをしてみてもおいしかったので、村で採れたものでおいしい料理を自分で作れるようになりたいです。丹波の郷土料理などがあれば教えてください！

⑤ まだ村の方たちとお話しできる機会が少ないので、見かけたら気軽にお話ししてもらえると嬉しいです。よろしくをお願いします。

## 伊東 真由(いとう・まゆ)



## 鈴木 梨奈(すずき・いな)



① 新潟県長岡市

② 一般社団法人たばやま観光推進機構  
現在はやまびこ庵（旧そば処）のテイクアウト販売のための商品づくりや開発に携わっています。

③ まず、関東で一番小さな（人口が少ない）村と知り、気になって調べていく中で、たくさんの山に囲まれた景観に惹かれました。出勤前に通る高尾橋からの景色が好きです。

④ 7月からやまびこ庵でテイクアウト形式の営業を開始するため、お店を盛り上げていけるような取り組みを考え、実行していけたらと思います。プライベートではキャンプに行き、朝日もしくは星を見ながら珈琲を飲むということをしてみたいです。

⑤ 引っ越したばかりの最初こそ不安は大きかったですが、皆様のやさしさのおかげでとても楽しく過ごせています！これからお世話になります。どうぞよろしくお願いいたします。

### 令和4年度活動隊員

望月敬之、小坪孝臣、仲野宏樹、寺田一智  
清水岳人、中平正士、西山寿恵、廣瀬太一  
宮地功孝、吉岡漠、樋口雅紀、小林寿彦  
山崎慶太、白川裕史、伊東真由、鈴木梨奈  
(令和4年5月1日現在：16人)

# 地域おこし協力隊インターンの新垣です！

丹波山村のみなさん、こんにちは。新垣貴大（あらがき・たかひろ）です。東京都足立区から来ました。

大学の授業で丹波山村でボランティア活動を行ったことがきっかけで村に興味を持ち、習俗について勉強するうちに実際に住みたくなりました。大学を休学して、地域おこし協力隊インターンとして株式会社アットホームサポーターズで主にペットフードの製造や畑仕事をしています。

目標は丹波山村の山々を制覇すること。丹波天平、サオラ峠、七ツ石、雲取山には登ったので、次は飛龍山、三ツ山に挑戦するつもりです！

山の地名のこと、山菜のこと、野鳥のこと、虫のこと…聞きたいことがたくさんあるので、ぜひ皆さんとお話ししたいです。よろしくお願ひします！



卵を産まなくなり、処分されるはずだった鶏の世話をしています。毎日えさをあげていると鶏に顔を覚えられ、近づいてきて愛着を感じるようになりました。鶏のえさやりが朝の日課です。

## 地域おこし協力隊インターンとは？

地域おこし協力隊に興味を持つ人が2週間から3か月の間、実際の地域おこし協力隊の業務に従事できる取り組み。令和3年度から制度が始まり、丹波山村でも令和4年度から受け入れを開始しました。新垣君はその第一号で、4月から6月まで活動します。

## ～協力隊卒業生欄～



坂本裕子さん（平成30年から令和3年まで地域おこし協力隊として活動）が、丹波中学校前に「オオカミ印の里山ごはん」をオープンしました。「丹波山の旬を食べよう」をテーマに、村で採れた旬の食材を使った料理を提供しています。

- 営業時間  
午前11時～午後3時  
（月・火・金・土・日）  
午後6時～午後10時頃  
（金・土のみ）
- 定休日 水・木
- 電話番号 0428-87-9467

寺崎美紅さん（平成28年から平成31年まで地域おこし協力隊として活動、現在は集落支援員）が制作した絵本『蒼い夜の狼たち』がNHK甲府「キラリやまなし大集合！」や山梨日日新聞などで紹介されました。絵本のほか、狼をモチーフにした印伝グッズは、丹波山村のふるさと納税の返礼品でも取り扱っています。